第 10 章　高齢者の状況

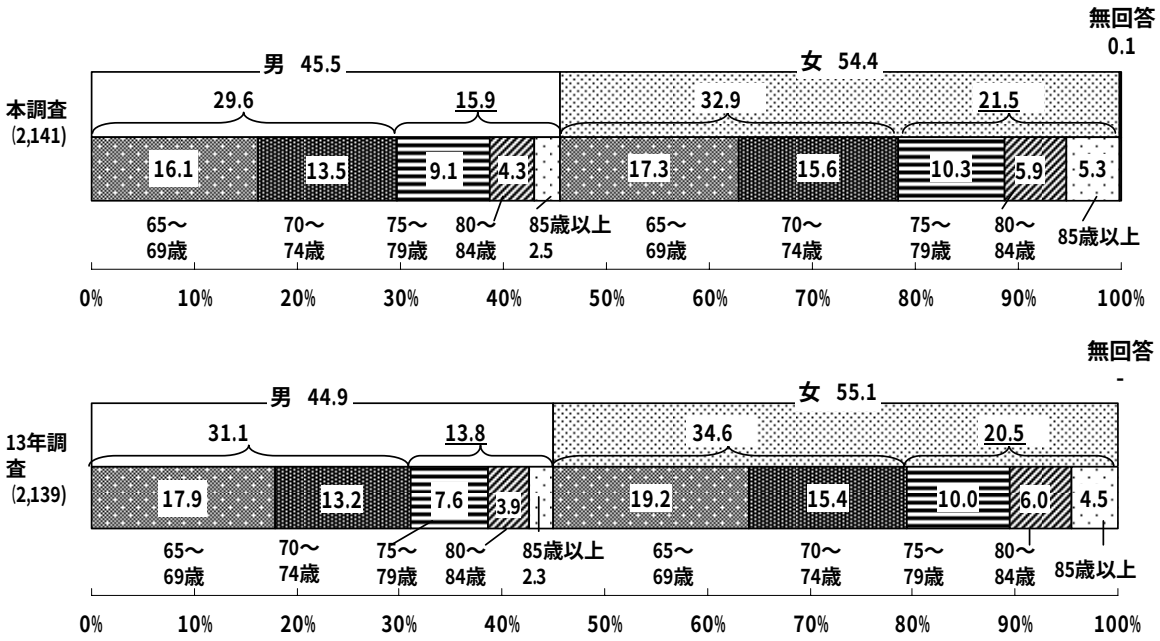
本章では、集計対象者 9,171 人のうち、65 歳以上の高齢者 2,141 人の状況について述べる。

1　高齢者の状況－性・年齢階級別、前回調査との比較

75 歳以上の後期高齢者は、男女ともに前回調査よりも増加。

65 歳以上の高齢者の性・年齢階級をみると、性別では「男性」45.5%、「女性」54.4%となっている。前回調査（13 年）と比べると年齢階級別では男女ともに「75 歳以上」の後期高齢者の割合が増加している。(男性 13.8%→15.9%、女性 20.5%→21.5%）(図Ⅰ-10-1)

図Ⅰ-10-1　高齢者の状況－性・年齢階級別、前回調査との比較



2　高齢者の配偶者の状況－性・年齢階級別

「離別」により配偶者がいない高齢者が増加

配偶者の有無をみると「配偶者あり」が 66.3%、「配偶者なし」が 32.7%となっている。「配偶者なし」の内訳をみると「死別」の割合は 24.1%と過去調査から連続して減少、「離別」の割合は過去調査では 2%台で推移していたが、今回 3.8%と増加している。（表Ⅰ-10-1）

表Ⅰ-10-1　高齢者の配偶者の状況－性・年齢階級別

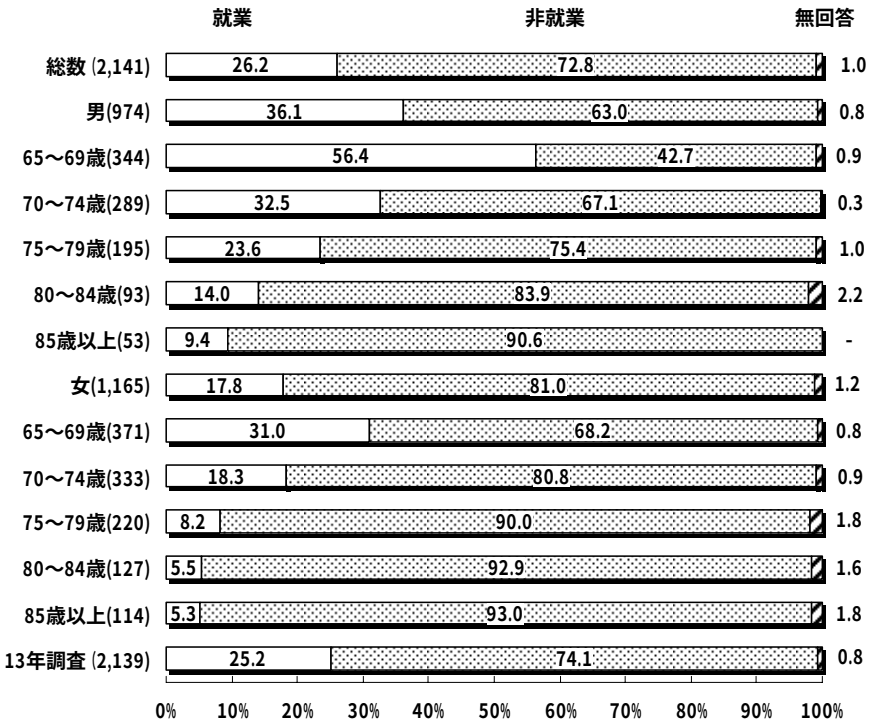
	総数	配偶者あり	配偶者なし	未婚	死別	離別	無回答
総数	100.0 (2,141)	66.3	32.7	4.8	24.1	3.8	0.9
男	100.0 (974)	83.6	15.9	3.3	8.8	3.8	0.5
65～69歳	100.0 (344)	85.5	14.0	4.7	4.1	5.2	0.6
70～74歳	100.0 (289)	83.7	15.6	3.5	8.3	3.8	0.7
75～79歳	100.0 (195)	85.6	14.4	2.6	9.2	2.6	-
80～84歳	100.0 (93)	79.6	19.4	1.1	15.1	3.2	1.1
85歳以上	100.0 (53)	69.8	30.2	-	30.2	-	-
女	100.0 (1,165)	52.0	46.7	6.1	36.7	3.9	1.3
65～69歳	100.0 (371)	69.0	29.4	6.5	17.8	5.1	1.6
70～74歳	100.0 (333)	60.1	38.7	7.5	26.7	4.5	1.2
75～79歳	100.0 (220)	45.5	53.2	4.1	47.3	1.8	1.4
80～84歳	100.0 (127)	24.4	74.8	8.7	63.8	2.4	0.8
85歳以上	100.0 (114)	16.7	82.5	1.8	77.2	3.5	0.9
13年調査	100.0 (2,139)	66.1	31.1	3.1	25.9	2.1	2.1
8年調査	100.0 (3,150)	64.4	34.5	4.0	28.4	2.1	0.5
3年調査	100.0 (3,076)	62.7	36.3	1.7	32.2	2.4	0.8

3　高齢者の就業の状況－性・年齢階級別

65～69 歳男性の高齢者では「就業」している割合が 56%

高齢者の就業の状況を性・年齢階級別にみると、「就業」は 26.2%、「非就業」は 72.8%となっている。性別でみると「就業」している割合は、女性（17.8%）よりも男性（36.1%）の割合が高い。「就業」している割合は、男性 65～69 歳の割合が 56.4%と最も高い。（図Ⅰ-10-2）

図Ⅰ-10-2　高齢者の就業の状況－性・年齢階級別



4　高齢者の主な世帯収入の種類－世帯類型別、前回調査との比較

高齢者の主な世帯収入の種類は「年金・恩給」の割合が前回調査よりも増加。

高齢者の主な世帯収入の種類は「年金・恩給」の割合が 61.1%と最も高く、「賃金・給料」の割合が 22.0%と続く。前回調査（13 年調査）と比べると「賃金・給料」の割合は減少（27.2→22.0%）、「年金・恩給」の割合は増加（50.6→61.1%）している。(表Ⅰ-10-2)

表Ⅰ-10-2　高齢者の主な世帯収入の種類－世帯類型別、前回調査との比較

		総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	年金・恩給	生活保護	その他の社会保障給付金	雇用保険	その他の収入	無回答
総数		100.0 (2,141)	22.0	8.3	0.0	4.5	-	0.2	61.1	2.0	0.0	-	0.8	1.0
世帯類型別	親族世帯	100.0 (1,717)	25.4	9.7	0.0	4.1	-	0.1	58.1	0.8	0.0	-	0.5	1.2
	単独世帯	100.0 (418)	7.9	2.6	-	6.0	-	0.7	73.7	6.7	-	-	1.9	0.5
13年調査		100 (2,139)	27.2	11.1	-	5.8	0.1	0.6	50.6	1.6	0.5	0.1	0.8	1.5

5　高齢者の主な世帯収入（年間収入）－世帯類型別、前回調査との比較

高齢者の収入は「200～300 万円」「300～400 万円未満」の割合が高い。

高齢者の主な世帯収入をみると、「200～300 万円未満」(18.8%)、「300～400 万円未満」(18.1%)の割合が高い。(表Ⅰ-10-3)

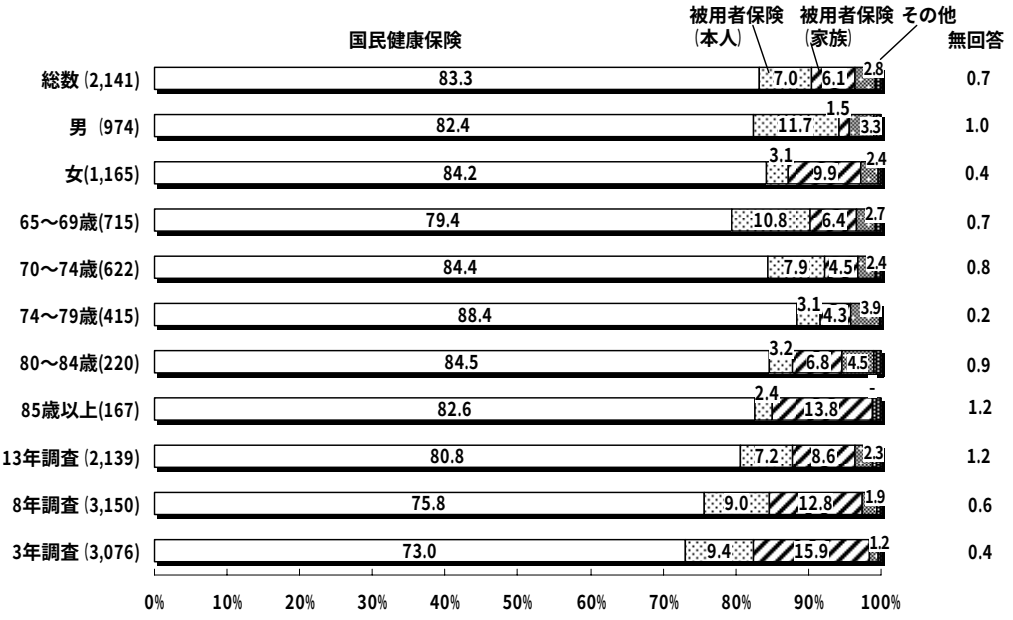
表Ⅰ-10-3　高齢者の主な世帯収入(年間収入)－世帯類型別、前回調査との比較

		総数	未満100万円	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
総数		100.0 (2,141)	4.5	12.8	18.8	18.1	10.8	12.4	9.2	7.0	6.4
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (1,226)	6.0	17.9	24.7	22.4	8.7	9.3	3.5	3.3	4.0
	ひとりぐらし	100.0 (418)	12.9	31.6	31.1	10.5	2.6	3.8	1.7	1.2	4.5
	高齢者夫婦のみの世帯	100.0 (776)	2.6	10.8	20.4	28.9	11.9	12.4	4.6	4.6	3.9
	その他の高齢者のみの世帯	100.0 (32)	-	12.5	46.9	21.9	12.5	6.3	-	-	-
高齢者がいる世帯		100.0 (914)	2.4	5.9	10.9	12.4	13.6	16.4	16.7	11.9	9.7
13年調査		100.0 (2,139)	2.5	8.2	11.9	15.1	8.9	13.0	8.9	15.0	16.3

6　高齢者の医療保険の加入状況－性・年齢階級別

高齢者の医療保険は「国民健康保険」の割合が過去調査より増加している。(図Ⅰ-10-3)
(3 年 73.0 → 8 年 75.8 → 13 年 80.8% → 本調査 83.3%)

図Ⅰ-10-3　高齢者の医療保険の加入状況－性・年齢階級別



第 11 章　手帳所持者の状況

本章では、集計対象者 9,171 人のうち身体障害者手帳、愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している人 307 人の状況について述べる。

1　手帳の所持状況－性・年齢階級別、過去調査との比較

手帳所持者の割合は、過去調査より連続して増加。

手帳の所持状況をみると「手帳あり」の割合は、全世帯員の 3.3%である。性別でみると「手帳あり」の割合は男性 3.7%、女性 3.0%である。65 歳以上の高齢者で「手帳あり」の割合は、7.6%となっている。過去調査と比較すると「手帳あり」の割合は、連続して増加している。（表Ⅰ-11-1）

表Ⅰ-11-1　手帳の所持状況－性・年齢階級別、過去調査との比較

	総数	手帳あり	身体障害者手帳のみ	愛の手帳のみ	精神障害者保健福祉手帳のみ	身体＋愛	身体＋精神	愛＋精神	無回答	三種類	手帳なし	無回答
総数	100.0 (9,171)	3.3	2.7	0.2	0.0	0.0	0.0	-	0.2	0.0	92.6	4.1
男	100.0 (4,363)	3.7	2.8	0.3	0.2	0.1	0.0	-	0.3	0.0	92.0	4.3
20歳未満	100.0 (788)	1.5	0.4	0.5	-	0.3	-	-	0.4	-	93.0	5.5
20～29歳	100.0 (414)	1.0	0.5	0.2	0.2	-	-	-	-	-	94.2	4.8
30～39歳	100.0 (704)	2.4	0.9	0.9	0.1	-	0.1	-	0.3	0.1	92.5	5.1
40～49歳	100.0 (617)	2.4	1.5	-	0.2	0.2	0.2	-	0.5	-	93.4	4.2
50～59歳	100.0 (605)	4.8	3.6	-	-	0.3	0.3	-	0.5	-	91.2	4.0
60～69歳	100.0 (603)	4.8	4.1	-	0.3	-	-	-	0.3	-	91.9	3.3
70～79歳	100.0 (484)	8.9	8.5	-	0.2	-	-	-	0.2	-	88.4	2.7
80歳以上	100.0 (146)	9.6	8.9	-	0.7	-	-	-	-	-	87.7	2.7
女	100.0 (4,726)	3.0	2.6	0.1	0.0	0.0	0.0	-	0.1	0.0	93.1	3.9
20歳未満	100.0 (697)	0.4	-	-	-	0.3	-	-	-	-	95.1	4.4
20～29歳	100.0 (526)	1.5	0.4	0.8	-	0.2	-	-	0.2	-	95.1	3.4
30～39歳	100.0 (771)	1.2	0.3	0.4	0.3	-	-	-	0.3	-	94.7	4.2
40～49歳	100.0 (598)	2.2	1.7	-	-	0.2	-	-	0.2	0.2	93.3	4.5
50～59歳	100.0 (611)	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-	-	95.1	3.3
60～69歳	100.0 (720)	4.0	3.8	-	-	-	0.3	-	-	-	92.2	3.8
70～79歳	100.0 (553)	7.2	7.1	-	-	-	-	-	0.2	-	89.3	3.4
80歳以上	100.0 (241)	12.9	12.9	-	-	-	-	-	-	-	83.4	3.7
(再掲)総数65歳以上	100.0 (2,139)	7.6	7.3	-	0.1	-	-	-	0.1	-	89.1	3.3
男 65歳以上	100.0 (974)	7.5	7.0	-	0.3	-	-	-	0.2	-	89.5	3.0
女 65歳以上	100.0 (1,165)	7.7	7.6	-	-	-	-	-	0.0	-	88.7	3.6
13年調査	100.0 (10,975)	2.4	1.9	0.2	0.1	0.1	-	0.0	0.0	0.0	94.7	3.0
8年調査	100.0 (20,068)	2.1	1.8	0.2	…	0.1	…	…	…	-	97.1	0.9
3年調査	100.0 (23,243)	1.6	1.3	0.2	…	0.1	…	…	…	-	98.1	0.3

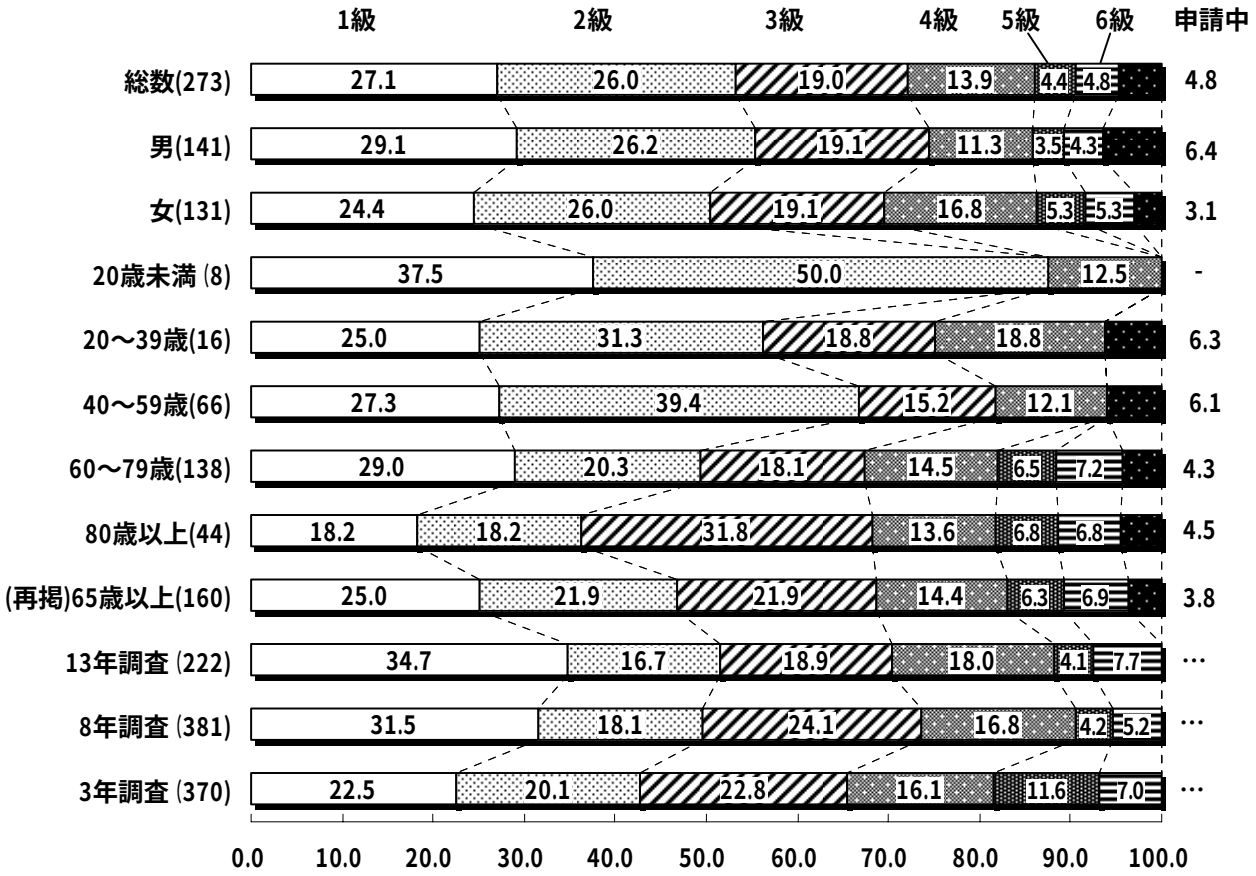
（注）精神障害者福祉保健手帳は、「8 年調査」は未調査、また「3 年調査」では事業が開始されていない。

2　身体障害者手帳所持者の状況

（1） 身体障害者手帳所持者の障害の程度－性・年齢階級別

身体障害者手帳を所持している 273 人の障害の程度をみると「1 級」27.1%、「2 級」26.0%「3 級」19.0%などとなっている。（図Ⅰ-11-1）

図Ⅰ-11-1　身体障害者手帳所持者の障害の程度－性・年齢階級別



（注）13 年、8 年、3 年調査では、「申請中」の選択肢はなかった。

（２） 身体障害者手帳所持者の障害の種類〔複数回答〕－障害の程度別

身体障害者の障害の種類は「下肢機能障害」38.8%、「内部機能障害」27.5%、「上肢機能障害」23.1%などとなっている。（表Ⅰ-11-2）

表Ⅰ-11-2　身体障害者手帳所持者の障害の種類〔複数回答〕－障害の程度別

	総数	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	上肢機能障害	下肢機能障害	体幹機能障害	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	内部機能障害	無回答
総数	100.0 (273)	9.2	15.4	8.8	23.1	38.8	9.5	2.6	27.5	7.3
1級	100.0 (74)	13.5	10.8	6.8	24.3	28.4	18.9	2.7	51.4	4.1
2級	100.0 (71)	9.9	23.9	12.7	31.0	40.8	8.5	4.2	11.3	8.5
3級	100.0 (52)	3.8	9.6	3.8	25.0	42.3	3.8	-	26.9	5.8
4級	100.0 (38)	5.3	13.2	5.3	2.6	42.1	-	2.6	26.3	13.2
5級	100.0 (12)	8.3	8.3	8.3	25.0	83.3	-	8.3	-	-
6級	100.0 (13)	15.4	38.5	23.1	15.4	38.5	15.4	-	-	7.7
申請中	100.0 (13)	7.7	7.7	15.4	30.8	23.1	15.4	-	38.5	15.4
13年調査	100.0 (222)	8.6	11.3	6.3	15.3	33.8	13.5	0.9	35.6	1.8
8年調査	100.0 (381)	11.5	7.3	8.7	22.3	38.1	11.0	…	31.2	11.5
3年調査	100.0 (329)	11.9	9.1	7.9	16.4	34.3	14.3	…	22.5	8.5

（注）「8年、3年調査」では「乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害」については調査をしていない。

3　愛の手帳所持者の状況－性別・過去調査との比較

愛の手帳所持者の障害の程度をみると、「2 度」51.4%、「4 度」37.1%の割合であった。(表Ⅰ-11-3)

表Ⅰ-11-3　愛の手帳所持者の障害の程度－性別、過去調査との比較

	総数	1度	2度	3度	4度	申請中
総数	100.0 (35)	5.7	51.4	5.7	37.1	…
男	100.0 (22)	9.1	50.0	4.5	36.4	…
女	100.0 (13)	-	53.8	7.7	38.5	…
13年調査	100.0 (30)	3.3	26.7	26.7	43.3	…
8年調査	100.0 (50)	10.0	42.0	26.0	22.0	…

4　精神障害者保健福祉手帳所持者の状況－性別・過去調査との比較

精神障害者保健福祉手帳所持者の障害の程度をみると「2 級」の割合が 52.6%と最も高い。(表Ⅰ-11-4)

表Ⅰ-11-4　精神障害者保健福祉手帳所持者の障害の程度－性別、過去調査との比較

	総数	1級	2級	3級	申請中
総数	100.0 (19)	26.3	52.6	10.5	10.5
男	100.0 (12)	33.3	58.3	8.3	-
女	100.0 (7)	14.3	42.9	14.3	28.6
13年調査	100.0 (19)	21.1	42.1	36.8	…

5　手帳所持者の傷病の状況[複数回答]－性・年齢階級、全世帯員別

手帳所持者で「傷病あり」の割合は82.7%となっており、全世帯員の割合（34.2%）に比べて48.5ポイント高くなっている。

「傷病あり」のうち、「病院・診療所に通院中」の割合が71.3%と最も高い。(表Ⅰ-11-5)

表Ⅰ-11-5　手帳所持者の傷病の状況[複数回答]－性・年齢階級、全世帯員別

		総数	傷病あり	病院・診療所に通院中	病院・診療所に入院中	病院・診療所等から往診、訪問診療等を受けている	歯科に入院中又は通院中（訪問診療を含む）	あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）にかかっている	その他（通院していないなど）	傷病なし	無回答
総数		100.0 (307)	82.7	71.3	2.9	2.9	7.8	3.3	3.9	16.3	1.0
性別	男	100.0 (163)	78.5	65.0	3.7	2.5	7.4	1.8	4.9	20.9	0.6
	女	100.0 (143)	87.4	78.3	2.1	3.5	8.4	4.9	2.8	11.2	1.4
年齢階級別	20歳未満	100.0 (15)	60.0	46.7	-	-	13.3	-	-	40.0	-
	20～29歳	100.0 (12)	66.7	41.7	-	-	16.7	8.3	8.3	25.0	8.3
	30～39歳	100.0 (26)	61.5	53.8	-	-	-	-	11.5	38.5	-
	40～49歳	100.0 (28)	71.4	64.3	-	-	7.1	-	7.1	28.6	-
	50～59歳	100.0 (39)	74.4	69.2	2.6	-	7.7	-	2.6	25.6	-
	60～69歳	100.0 (58)	96.6	77.6	6.9	3.4	10.3	1.7	3.4	3.4	-
	70～79歳	100.0 (83)	88.0	78.3	2.4	7.2	4.8	6.0	2.4	9.6	2.4
	80歳以上	100.0 (45)	93.3	82.2	4.4	2.2	11.1	6.7	2.2	6.7	-
	(再掲)総数65歳以上	100.0 (163)	91.4	79.1	3.7	5.5	7.4	5.5	2.5	7.4	1.2
全世帯員		100.0 (9,171)	34.2	24.3	0.4	0.3	6.1	2.9	3.5	63.3	2.5

6　手帳所持者の就業の状況

（1） 手帳所持者の就業の状況－性、年齢階級、手帳の所持状況別、全世帯員との比較

手帳所持者の「就業者」は 20.2%と全世帯員（51.5%）と比べて 31.3 ポイント低い。

性別でみると、「就業者」は女性（13.3%）よりも男性（26.4%）の割合が高くなっている。（表Ⅰ-11-6）

表Ⅰ-11-6　手帳所持者の就業の状況－性、年齢階級、手帳の所持状況別、全世帯員との比較

		総数	就業者	主に仕事	家事などのほかに仕事	通学のかたわらに仕事	その他	仕事を探していた	非労働力人口	家事（専業）	通学のみ	その他（幼児・高齢・病気等）	無回答
総数		100.0 (307)	20.2	16.6	2.3	-	1.3	1.0	78.5	13.0	4.2	61.2	0.3
性別	男	100.0 (163)	26.4	23.9	0.6	-	1.8	1.8	71.2	1.2	6.1	63.8	0.6
	女	100.0 (143)	13.3	8.4	4.2	-	0.7	-	86.7	26.6	2.1	58.0	-
年齢階級別	20歳未満	100.0 (15)	6.7	6.7	-	-	-	-	93.3	-	86.7	6.7	-
	20～39歳	100.0 (38)	47.4	42.1	-	-	5.3	2.6	50.0	5.3	-	44.7	-
	40～59歳	100.0 (67)	41.8	32.8	7.5	-	1.5	3.0	55.2	11.9	-	43.3	-
	60～79歳	100.0 (141)	9.9	7.8	1.4	-	0.7	-	89.4	19.1	-	70.2	0.7
	80歳以上	100.0 (45)	2.2	2.2	-	-	-	-	97.8	6.7	-	91.1	-
	(再掲)総数65歳以上	100.0 (163)	5.5	4.3	0.6	-	0.6	-	93.9	15.3	-	78.5	0.6
手帳の所持状況別	身体障害者手帳のみ	100.0 (244)	19.7	16.4	2.5	-	0.8	0.4	79.5	16.0	1.2	62.3	0.4
	愛の手帳のみ	100.0 (18)	44.4	38.9	-	-	5.6	-	55.6	-	16.7	38.9	-
	精神障害者保健福祉手帳のみ	100.0 (9)	-	-	-	-	-	11.1	88.9	-	-	88.9	-
	身体＋愛	100.0 (9)	22.2	11.1	-	-	11.1	-	77.8	-	44.4	33.3	-
	身体＋精神	100.0 (6)	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-
	愛＋精神	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三種類	100.0 (2)	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
全世帯員		100.0 (9,171)	51.5	40.3	8.5	1.4	1.2	1.4	46.4	15.2	11.7	19.6	0.7

（2） 手帳所持者の就労の形態－性別

手帳所持者の就業者 62 人について就労の形態をみてみると、「雇用者」69.4%、「自営業」19.4%となっている。（表Ⅰ-11-7）

表Ⅰ-11-7　手帳所持者の就労の形態－性別

	就業	雇用者	常雇	一般常雇	役員	契約雇用（1月以上1年未満）	契約雇用（日々又は、1月未満）	自営業	自営業主（雇人あり）	自営業主（雇人なし）	家族従事者（自家営業の手伝い）	家庭内の賃仕事	その他	無回答
総数	100.0 (62)	69.4	56.5	50.0	6.5	9.7	3.2	19.4	3.2	11.3	4.8	1.6	8.1	1.6
男	100.0 (43)	46.8	41.9	35.5	6.5	4.8	-	14.5	3.2	8.1	3.2	-	6.5	1.6
女	100.0 (19)	22.6	14.5	14.5	-	4.8	3.2	4.8	-	3.2	1.6	1.6	1.6	-

第 12 章　介助の状況

本章では、集計対象世帯 3,775 世帯のうち、「世帯員に手助けや見守りが必要な人がいる」と答えた 261 世帯および手助けや見守りを受けている人（要介助者）269 人の状況について述べる。

1　手助けや見守りが必要な人がいる世帯の状況－世帯類型別

世帯員に「手助けや見守りが必要な人あり」の世帯の割合は、全世帯の 6.9%、「手助けや見守りが必要な人なし」の世帯の割合は 92.5%となっている。

世帯類型別にみると、「手助けや見守りが必要な人あり」の世帯の割合は、手帳所持者がいる世帯が 44.6%と高い。（表Ⅰ-12-1）

表Ⅰ-12-1　手助けや見守りが必要な人がいる世帯の状況－世帯類型別

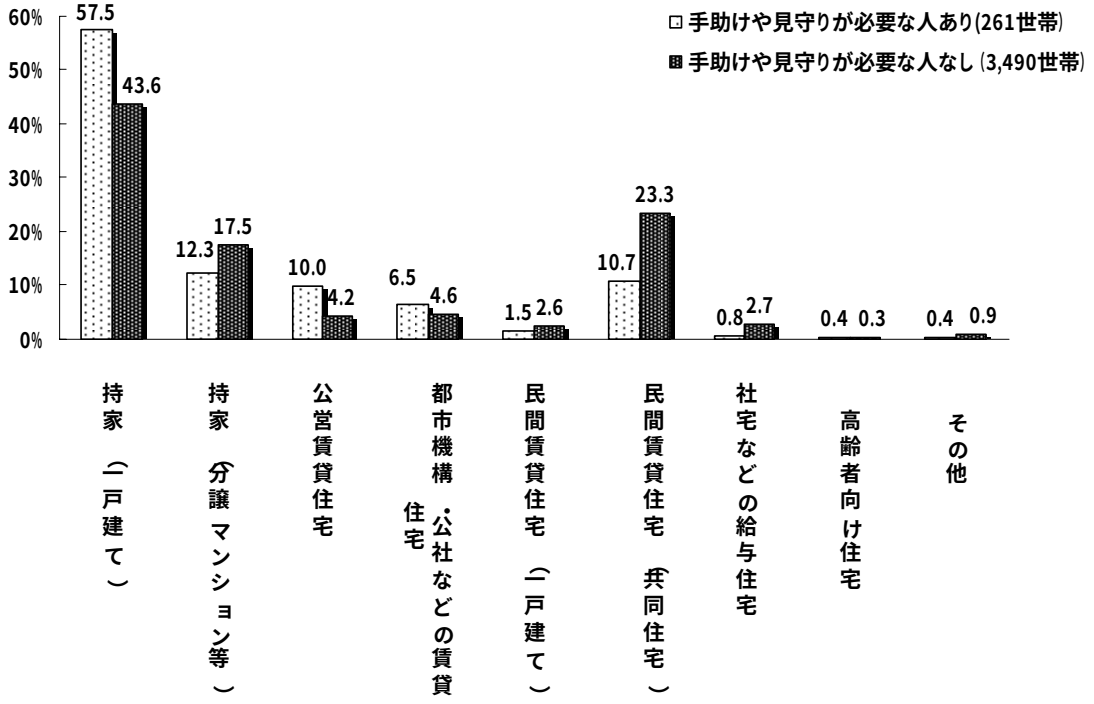
		総数	手助けや見守りが必要な人あり	1人	2人	手助けや見守りが必要な人なし	無回答
総数		100.0 (3,775)	6.9	6.7	0.2	92.5	0.6
世帯類型別	親族世帯	100.0 (2,726)	8.4	8.1	0.3	91.0	0.6
	核家族世帯	100.0 (2,466)	6.3	6.1	0.2	93.0	0.7
	その他の親族世帯	100.0 (260)	28.5	27.3	1.2	71.5	-
	非親族世帯	100.0 (8)	-	-	-	100.0	-
	単独世帯	100.0 (1,038)	3.1	3.1	-	96.2	0.7
	高齢者のみの世帯	100.0 (820)	10.7	10.5	0.2	88.9	0.4
	高齢者がいる世帯	100.0 (700)	18.3	17.6	0.7	81.1	0.6
	高齢者がいない世帯	100.0 (2,241)	2.0	2.0	0.0	97.2	0.8
	手帳所持者がいる	100.0 (289)	44.6	41.9	2.8	54.0	1.4
	手帳所持者がいない	100.0 (3,459)	3.8	3.8	-	95.8	0.5

2　手助けや見守りが必要な人の有無－住居の種類別

世帯員に手助けや見守りが必要な人がいる世帯と、いない世帯についてその住居の種類を比較する。

「持家（一戸建て）」では手助けや見守りが必要な人がいる世帯の割合が 57.5%で、手助けや見守りが必要な人がいない世帯の割合（43.6%）よりも高い。一方、「民間賃貸住宅（共同住宅）は手助けや見守りが必要な人がいる世帯の割合が 10.7%で、手助けや見守りが必要な人がいる世帯の割合（23.3%）よりも低くなっている。（図Ⅰ-12-1）

図Ⅰ-12-1　手助けや見守りが必要な人の有無－住居の種類別



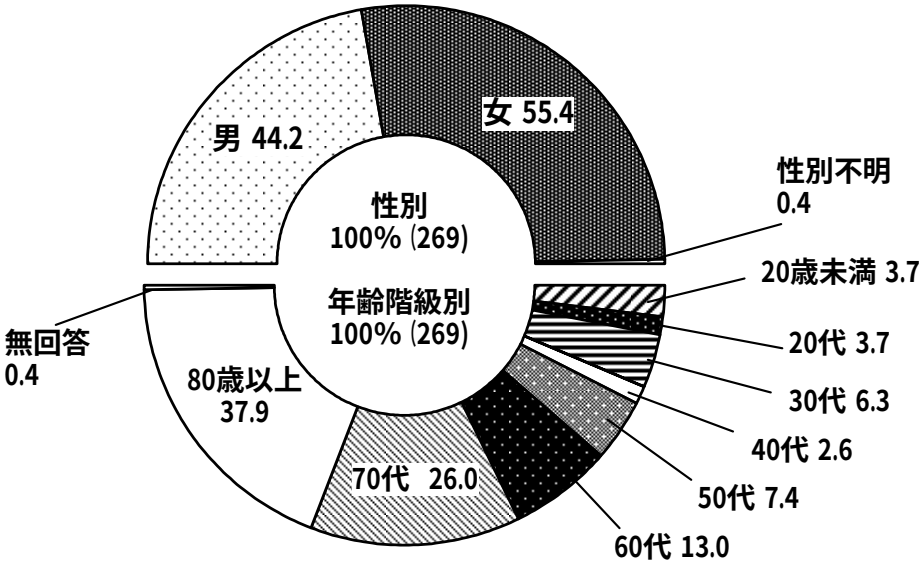
（注）無回答は除く。

3　手助けや見守りが必要な人の状況

（1） 手助けや見守りが必要な人の状況－性・年齢階級別

手助けや見守りが必要な 269 人を性別にみると、男性 44.2%、女性 55.4%となっており、女性の割合が 11.2 ポイント高い。年齢階級別にみると、「80 歳以上」の割合が 37.9%と最も高くなっている。（図Ⅰ-12-2）

図Ⅰ-12-2　手助けや見守りが必要な人の状況－性・年齢階級別



（2） 手助けや見守りが必要になった主な理由－性・年齢階級別

手助けや見守りが必要になった主な理由は、「高齢による身体の衰え」が最も多く 3 割

手助けや見守りが必要になった主な理由は、「高齢による身体の衰え」の割合が 32.0%で最も高く、次いで「身体障害」が 28.6%と続く。

65 歳以上の高齢者では、手助けや見守りが必要になった主な理由が「高齢による身体の衰え」の割合が 42.6%、「認知症」の割合が 11.2%となっている。(表Ⅰ-12-2)

表Ⅰ-12-2　手助けや見守りが必要になった主な理由－性・年齢階級別

		総数	身体障害	知的障害	精神障害	長期間にわたる傷病	認知症	高齢による身体の衰え	その他	無回答
総数		100.0 (269)	28.6	4.5	4.8	12.3	8.9	32.0	6.7	2.2
性別	男	100.0 (119)	35.3	5.9	2.5	11.8	5.9	26.9	10.1	1.7
	女	100.0 (149)	23.5	3.4	6.7	12.8	11.4	35.6	4.0	2.7
年齢階級別	10歳未満	100.0 (4)	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-
	10～19歳	100.0 (6)	33.3	50.0	-	-	-	-	16.7	-
	20～29歳	100.0 (7)	14.3	28.6	42.9	-	-	-	14.3	-
	30～39歳	100.0 (17)	23.5	29.4	35.3	11.8	-	-	-	-
	40～49歳	100.0 (7)	57.1	-	-	-	-	-	14.3	28.6
	50～59歳	100.0 (20)	50.0	-	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0
	60～69歳	100.0 (35)	42.9	-	2.9	17.1	5.7	14.3	11.4	5.7
	70～79歳	100.0 (70)	38.6	-	1.4	18.6	7.1	25.7	8.6	-
	80歳以上	100.0 (102)	12.7	-	-	8.8	14.7	59.8	2.9	1.0
	(再掲)総数65歳以上	100.0 (197)	25.4	-	0.5	13.7	11.2	42.6	6.1	0.5
	男　65歳以上	100.0 (82)	30.5	-	1.2	13.4	7.3	37.8	8.5	1.2
	女　65歳以上	100.0 (115)	21.7	-	-	13.9	13.9	46.1	4.3	-

（３） 手助けや見守りが必要になった主な理由－世帯類型（65 歳以上の高齢者がいる世帯）別

手助けや見守りが必要になった主な理由を 65 歳以上の高齢者がいる世帯別にみると、「身体障害」が主な理由の世帯は、高齢者のみの世帯の割合が 34.4%で高齢者がいる世帯の割合の 23.3%よりも 10 ポイント以上高い。（表Ⅰ-12-3）

表Ⅰ-12-3　手助けや見守りが必要になった主な理由－世帯類型（65 歳以上の高齢者がいる世帯）別

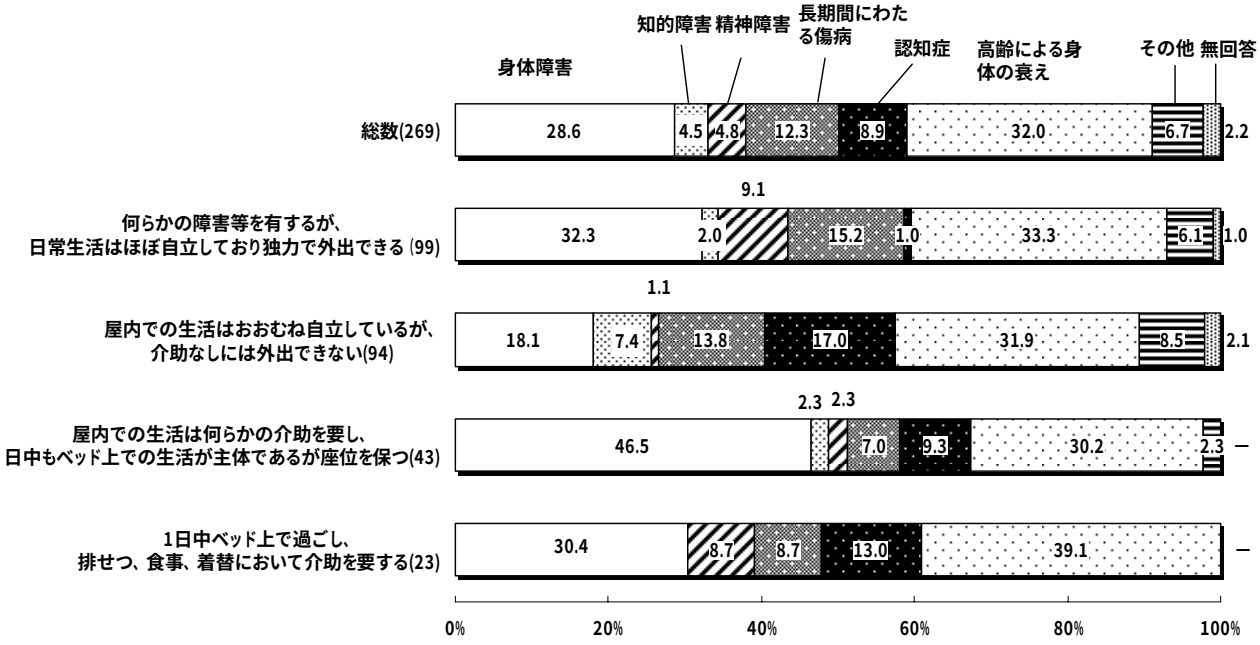
	総数	身体障害	知的障害	精神障害	長期間にわたる傷病	認知症	高齢による身体の衰え	その他	無回答
総数	100.0 (269)	28.6	4.5	4.8	12.3	8.9	32.0	6.7	2.2
高齢者のみの世帯	100.0 (90)	34.4	-	1.1	21.1	1.1	34.4	7.8	-
ひとりぐらし	100.0 (29)	20.7	-	-	20.7	-	48.3	10.3	-
高齢者夫婦のみの世帯	100.0 (57)	43.9	-	1.8	21.1	1.8	24.6	7.0	-
その他の高齢者のみの世帯	100.0 (4)	-	-	-	25.0	-	75.0	-	-
高齢者がいる世帯	100.0 (133)	23.3	1.5	2.3	6.8	16.5	40.6	6.0	3.0
夫婦のみの世帯	100.0 (12)	41.7	-	-	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3
高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (54)	25.9	1.9	3.7	3.7	11.1	44.4	5.6	3.7
高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (13)	-	-	-	15.4	30.8	46.2	7.7	-
高齢者と配偶者のない子と孫のいる世帯	100.0 (10)	20.0	10.0	-	10.0	20.0	30.0	10.0	-
高齢者と配偶者のある子と孫のいる世帯	100.0 (39)	23.1	-	2.6	2.6	17.9	48.7	2.6	2.6
高齢者がいるその他の世帯	100.0 (5)	20.0	-	-	20.0	40.0	20.0	-	-
高齢者がいない世帯	100.0 (46)	32.6	21.7	19.6	10.9	2.2	2.2	6.5	4.3

（４） 手助けや見守りが必要になった主な理由－手助けや見守りが必要な人の状態別

手助けや見守りが必要になった主な理由を手助けや見守りが必要な人の状態別にみると、「身体障害」が理由で手助けや見守りが必要になった人は、屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ状態の割合が 46.5%と最も高い。

また、「認知症」が理由の人は、屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない状態の割合が 17.0%と最も高くなっている。（図Ⅰ-12-3）

図Ⅰ-12-3　手助けや見守りが必要になった主な理由－手助けや見守りが必要な人の状態別

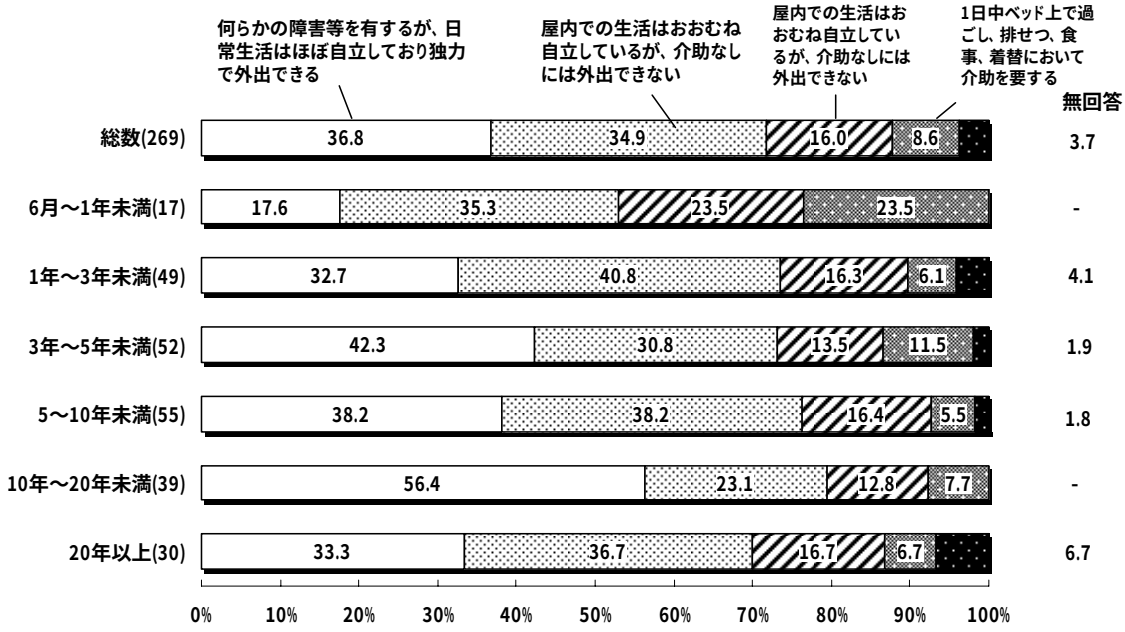


（５） 手助けや見守りが必要な人の状態-手助けや見守りを必要とするようになってからの期間別

手助けや見守りが必要な人の状態は「何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる」の割合が最も多く 36.8%、次いで「屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない」の 34.9%と続く。

手助けや見守りが必要とするようになってからの期間が 20 年以上の人の状態は「屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない」が 36.7%と最も高い。（図Ⅰ-12-4）

図Ⅰ-12-4　手助けや見守りが必要な人の状態－手助けや見守りを必要とするようになってからの期間別



4　主に手助けや見守りをしている人の状況

（1） 主に手助けや見守りをしている人の同居・別居、続柄－手助けや見守りが必要な人の状態別

主に手助けや見守りをしている人が同居の人ではない場合、事業者（ホームヘルパー等）の割合が高い。

主に手助けや見守りをしている人は「同居」73.2%、「別居」20.8%となっている。

同居のうち、主に手助けや見守りをしている人は「配偶者」の割合が最も高く 35.7%、次いで「子」が 17.1%と続く。また、別居では「事業者（ホームヘルパー等）」5.2%、「子」3.3%の割合が高くなっている。（表Ⅰ-12-4）

表 1-12-4　主に手助けや見守りをしている人の同居・別居、続柄－手助けや見守りが必要な人の状態別

	総数	同居	配偶者	子	子の配偶者	父母	配偶者の父母	兄弟姉妹	別居	子	孫	父母	兄弟姉妹	事業者（ホームヘルパー等）	無回答	無回答
総数	100.0 (269)	73.2	35.7	17.1	8.2	10.4	0.4	1.5	20.8	3.3	-	0.7	0.4	5.2	11.2	5.9
何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる	100.0 (99)	67.7	34.3	15.2	5.1	9.1	1.0	3.0	23.2	4.0	-	1.0	1.0	4.0	13.1	9.1
屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない	100.0 (94)	74.5	30.9	22.3	9.6	10.6	-	1.1	21.3	3.2	-	-	-	5.3	12.8	4.3
屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ	100.0 (43)	86.0	46.5	16.3	9.3	14.0	-	-	11.6	-	-	-	-	9.3	2.3	2.3
1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	100.0 (23)	78.3	47.8	8.7	17.4	4.3	-	-	21.7	8.7	-	-	-	4.3	8.7	-

(注)同居の人は世帯員に限って尋ねているため、表頭の同居の内訳に事業者（ホームヘルパー等）の項目はない。

（2） 主に手助けや見守りをしている人（同居）の続柄－性・年齢階級別

主に手助けや見守りをしている人（同居）の続柄は、「配偶者」48.7%、「子」23.4%の割合が高い。「配偶者」の年齢階級をみると 70 代(94.7%)、80 歳以上（100%）の割合が高く、「子」の年齢階級は 40 代（42.1%)、50 代（40.0%）の割合が高くなっている。（表 1-12-5）

表 1-12-5　主に手助けや見守りをしている人（同居）の続柄－性・年齢階級別

		総数	配偶者	子	子の配偶者	父母	配偶者の父母	兄弟姉妹
総数		100.0 (197)	48.7	23.4	11.2	14.2	0.5	2.0
性別	男	100.0 (60)	58.3	35.0	-	1.7	-	5.0
	女	100.0 (137)	44.5	18.2	16.1	19.7	0.7	0.7
年齢階級	30歳未満	100.0 (3)	33.3	33.3				33.3
	30～39歳	100.0 (7)	28.6	-	28.6	28.6	14.3	-
	40～49歳	100.0 (19)	10.5	42.1	10.5	31.6	-	5.3
	50～59歳	100.0 (60)	18.3	40.0	25.0	15.0	-	1.7
	60～69歳	100.0 (55)	52.7	21.8	5.5	18.2	-	1.8
	70～79歳	100.0 (38)	94.7	2.6	-	2.6	-	-
	80歳以上	100.0 (15)	100.0	-	-	-	-	-